

令和8(2026)年度

事業計画書

公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団

令和8年度 事業計画

〈事業展開の基本方針〉

令和8年1月1日現在の群馬県の人口は約187万3千人で前年よりも1万4千人ほど減少しています。将来推計人口によると令和16年には約177万4千人に減少することが見込まれている一方で、65歳以上の高齢者人口は増加の一途をたどり約59万9千人に達し、全体の33.8%になることが予測されています。

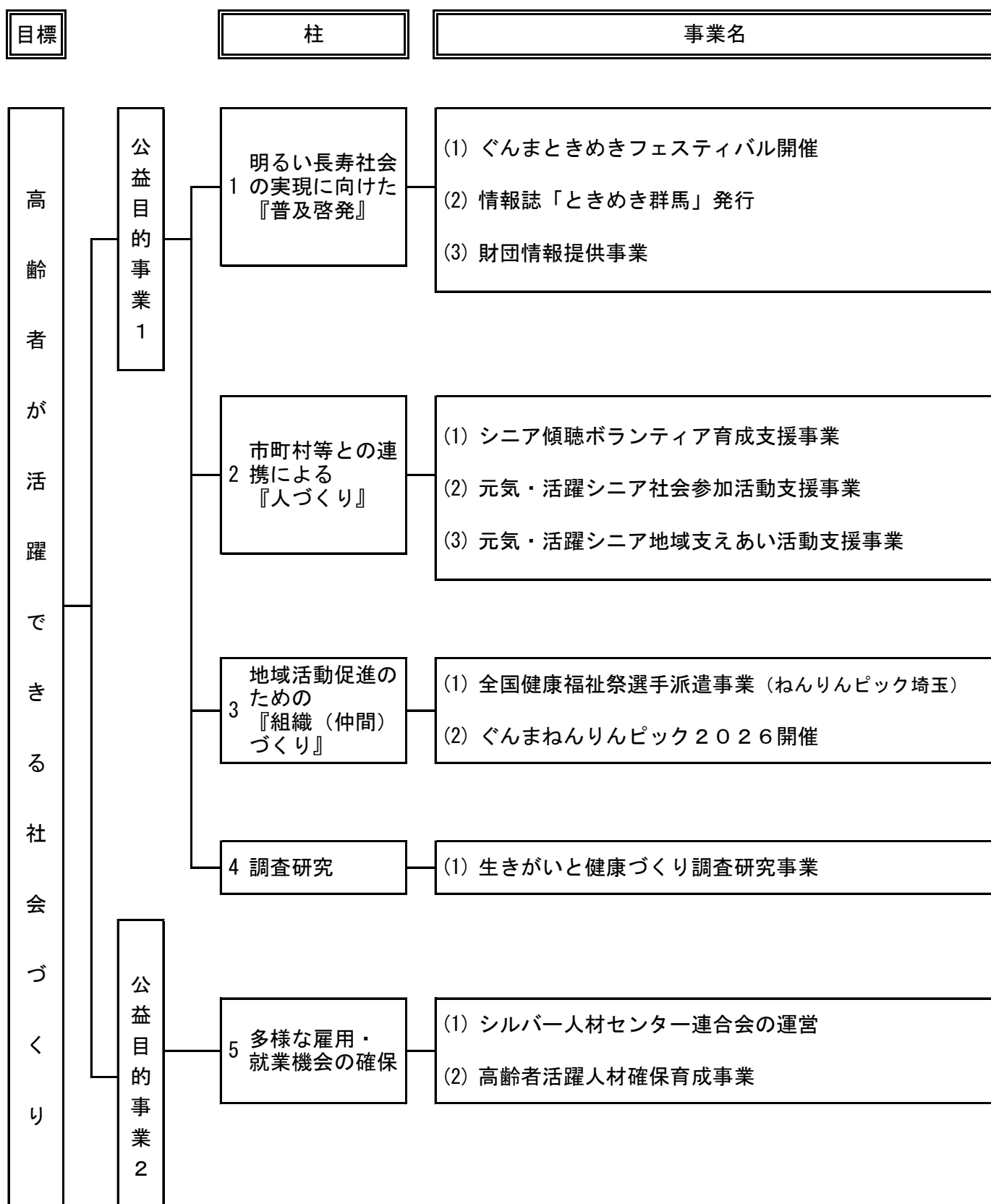
今後も少子高齢化が進む「超高齢社会」にあっては、社会保障費の負担増、労働力人口の減少、医療・福祉の人材不足による介護難民の発生など、さまざまな分野で課題が生じることが懸念されています。

このような状況において、高齢者が単に「支えられる側」ではなく、現役世代とともに労働やボランティアを通じて地域や社会の中で「支える側」として社会的役割を果たすことが期待されています。

自らの経験や知識を活かし、ボランティアや就労など多様な「活躍の場」を通じて地域社会との関わりを持ち続けることは、健康寿命の延伸や生涯健康で幸せに暮らすことのできる持続可能な地域づくりにも役立ちます。

群馬県長寿社会づくり財団は、「高齢者が活躍できる社会づくり」を目標に掲げ、高齢者の自主的な社会参加、雇用・就業及び能力活用、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「普及啓発」、「人づくり」、「組織づくり」、「調査研究」、「多様な雇用・就業機会の確保」の5つの柱に沿って、地域の課題や高齢者のニーズに応えられるよう、市町村や市町村社会福祉協議会など関係機関・関係団体との協働による事業実施を推進するとともに、群馬県と一体となって明るい長寿社会の実現に向けて取り組んでまいります。

令和8年度 事業体系



1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

(1) ぐんまときめきフェスティバル開催 [予算額 3,720千円]

シニア世代の創作活動による作品を審査し、展示・発表することで、社会参加による生きがいを推進するため、美術展、短歌大会を開催するとともに、高齢期の生き方について共に考える機会とするための講演会を実施します。

ア 開催日 3月(予定)

イ 会場 昌賢学園まえばしホール(予定)

ウ 内容

(ア) ときめき美術展(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

(イ) ときめき短歌大会

(ウ) ときめき講演会

(エ) 参加者数 1,000人程度

(2) 情報誌「ときめき群馬」発行 [予算額 1,409千円]

シニア世代の生きがいをづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けて意識啓発を図ります。

ア 配布部数 各号10,000部(年2回)

イ 配布先 県、市町村、公民館等

(3) 財団情報提供事業 [予算額 351千円]

ホームページやSNSを多用しながら、従来のPR用パンフレットと併せ、市町村や県民へ当財団の事業内容を適時提供します。

ア 内容

(ア) PR用パンフレット「事業案内ときめき」作成 8,000部

(イ) ホームページ更新 当財団の概要及び事業等の情報

(ウ) X・LINE およびYouTube アカウントの運営 新着情報、募集情報、事業内容の配信

(エ) 市町村等関係団体との事業連携についてアンケートの実施

a 内容 当財団事業の協働実施について

b 送付先 市町村、市町村社協、シルバー人材センター

2 市町村等との連携による『人づくり』

(1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 [予算額 736千円]

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座及びスキルアップ講座を開催します。

ア 養成講座

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

a 渋川会場(渋川市社会福祉協議会) 7/22(水)・29(水)、子持福祉会館

b 嬭恋会場(嬭恋村社会福祉協議会) 11/18(水)・19(木)、嬭恋村内

(イ) 定員 各30名

イ スキルアップ講座

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

a 東吾妻会場(東吾妻町・中之条町・草津町社会福祉協議会) 8/25(火)
東吾妻町農村環境改善センター

b 太田会場(太田市社会福祉協議会) 9/30(水)、太田市福祉会館

(イ) 定員 各30名

(2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 [予算額 653千円]

仕事中心の生活から地域中心の生活に移行するシニア層が、退職後も健康で社会とのつながりを維持できるように、シニアが興味・関心を持ち、仲間づくりや社会参加に役立つ講座を開催します。

また、シニアグループの情報提供やマッチングを行い社会参加活動を支援します。

ア アクティブシニアのデジタル講座

スマートフォンを使い、QRコードの読み取り方や安全に使うためのポイント、高齢者が巻き込まれがちなトラブルへの対応について学び、デジタル化が進む中での高齢者のデジタルデバイドの解消を図ります。

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

a みどり会場(みどり市シルバー人材センター) 6/26(金)、大間々いきいきセンター

b 千代田会場(千代田町社会福祉協議会) 8/28(金)、千代田町総合保健福祉センター

(イ) 定員 各20名

イ シニアのビデオゲーム体験講座(仮称)

指先を使うことで認知症予防が期待できるゲームを通じ、健康寿命の延伸に役立てます。

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

桐生会場(桐生市)、12/2(水)、美喜仁文化会館

(イ) 定員 15名

ウ 足の健康講座

多くの人が自己流の歩き方をしている中で、足の不調から分かること、靴の選び方、履き方、脱ぎ方、正しい歩き方、家ででのケア方法などを学び、少しでも長く自分の足で歩ける足づくりを目指します。

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

邑楽会場(邑楽町)、9/29(火)、10/6(火)、邑楽町役場

(イ) 定員 30名

エ 眠りで整うカラダづくり講座(新規)

毎日健康に過ごすために不可欠な「睡眠」。睡眠の悩みは年齢とともに増えることから、体内のメカニズムと快眠のコツについて学び、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸に役立てます。

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所

a 伊勢崎会場(伊勢崎市社会福祉協議会)、7/28(火)、8/4(火)
伊勢崎市緋の郷

b 富岡会場(富岡市シルバー人材センター)、8/19(水)・26(水)
富岡市勤労者会館

c 中之条会場(中之条町・東吾妻町・高山村社会福祉協議会)、12/8(火)・
15(火) 中之条町バイテック文化ホール

(イ) 定員 各30名

オ シニアグループの登録

活動支援、情報提供(ホームページに掲載)、関係団体との連絡調整

カ 貸出 軽スポーツ用具などを無料で貸し出します。

(ア) 健康マージャン道具 (イ) 軽スポーツ用具(スカイクロス、ペタンク)

(3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業 [予算額 1,044千円]

元気な高齢者の社会参加及び地域の支えあい活動の担い手としての活躍を推進する一方で、要支援者の増加を抑制し、高齢者が元気でいつまでも社会との関わりを持つことができる、明るく活力のある長寿社会の実現を目指し、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な講座を開催します。

ア 若返りリトミック講座

音楽を楽しみながら心身の若返りと認知症予防を目的にしたメソッドを使いながら、「あたま」「こころ」「からだ」の3つの若返りの手法とその効果を習得します。

- (ア) 会場名(連携先)、開催日、場所
- a 渋川会場(渋川市ボランティア協議会)、5/8(金)、渋川ほっとプラザ
 - b 館林会場(館林シルバー人材センター)、11/25(水)、郷谷公民館
 - c 板倉会場(板倉町)、11/26(木)、板倉町中央公民館
- (イ) 定員 各50名

イ 子育て応援ボランティア講座

現代の子育て、関わり方と読み聞かせに関する座学や実習を行います。

- (ア) 会場名(連携先)、開催日、場所
- a 板倉会場(板倉町)、9/8(火)・15(火)、板倉町中央公民館
 - b 嬭恋会場(嬭恋村社会福祉協議会、嬭恋村シルバー人材センター)、12/8(火)・15(火)、嬭恋村地域交流センター
 - c 沼田会場(沼田市シルバー人材センター)、未定、沼田市保健福祉センター
- (イ) 定員 各30名

ウ 感覚トレーニング講座

感覚は、日常生活の中で動作や情緒面に大きな影響を与えますが、一般的に加齢に伴って、その機能も低下していくことから、視覚(目)・聴覚(耳)・触覚(皮膚)と前庭覚(三半規管・耳石器官)・固有覚(筋と関節)に作用する簡単な運動方法とその効果を学び健康の維持増進を図ります。

- (ア) 会場名(連携先)、開催日、場所
- a 邑楽会場(邑楽町)、6/3(水)、7/1(水)、邑楽町中央公民館
 - b 太田会場(太田市社会福祉協議会)、7/10(金)・17(金)、太田市新田福祉総合センター
 - c 伊勢崎会場(伊勢崎市社会福祉協議会)、9月予定、伊勢崎市緋の郷
 - d 渋川会場(渋川市)、12/2(水)、渋川市民会館
- (イ) 定員 各30名

エ ハンドケア講座

高齢者を支援するにあたっての心構えや手のぬくもりを通して、リラックス効果、血行促進、睡眠の質の改善、認知症予防など、様々な効果が期待できるハンドケアの手法と効果を学びます。

- (ア) 会場名(連携先)、開催日、場所、定員
- a 沼田会場(沼田市地域包括支援センター)、9/18(金)・25(金)、沼田市保健福祉センター、40名
 - b 板倉会場(板倉町)、2/19(金)・26(金)、板倉町中央公民館、30名

3 地域活動促進のための『組織（仲間）づくり』

(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業 [予算額 3,712千円]

シニア世代を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図りふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するために開催される「第38回全国健康福祉祭埼玉大会（ねんりんピック彩の国さいたま2026）」に群馬県選手団を派遣します。

- ア 開催期間 11/7（土）～10（火） 4日間
- イ 場 所 埼玉県内各地
- ウ 選手団 150人程度
- エ 参加種目 29種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、サッカー、ボウリング、サイクリング、太極拳、なぎなた、ダンススポーツ、軟式野球、マレットゴルフ、インディアカ、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、空手道、レクリエーションダンス、囲碁、将棋、健康マージャン

(2) ぐんまねんりんピック2026開催 [予算額 3,305千円]

スポーツや文化活動をとおして、シニア世代の健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進します。

- ア 開催日 10/29（木）
- イ 場 所 ALSOKぐんま総合スポーツセンター他
- ウ 参加者数 2,000人程度
- エ 競技種目 17種目

ゲートボール、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道、グラウンド・ゴルフ、マラソン、水泳、ソフトバレーボール、ペタンク、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン

4 調査研究

(1) 生きがいと健康づくり調査研究事業 [予算額 -]

当財団の事業参加者を対象に、講座に参加したことでの自身の意識や行動の変化、講座で得た知識や経験の活用方法、財団に期待する内容等についてアンケートを行い、シニアの社会参加の実態とその効果をまとめ、公表します。

- ア 調査時期 4月～2月
- イ 調査対象 当財団事業参加者
- ウ 調査方法 GoogleフォームによるWeb調査
- エ 調査事項 講座に参加したことによる自身の意識や行動の変化、講座で得た知識や経験の活用方法、財団に期待する事業内容等

5 多様な雇用・就業機会の確保

(1) シルバー人材センター連合会の運営 [総合計予算額 1,327,875千円]

「自主・自立、共働・共助」を基本理念として、群馬労働局、群馬県並びに市町村と連携を密にして、県内各地において、シニアのための臨時的、短期的又は軽易な業務の就業機会の確保、提供を行っている市町村シルバー人材センターの取組を支援します。

- ・内 容 ① 定期総会（6月）
- ② 連合幹事会 3回（6月、2月）
- ③ 事務局長会議 2回（6月、2月）
- ④ ブロック会議 中・北毛、東毛、西毛各1回（1月）
- ⑤ オンラインを活用した各種会議、説明会の開催（随時）

ア 普及啓発事業（予算額 4,445千円）

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するとともに、会員拡大と退会防止のための普及啓発事業を推進し、センター事業の活性化を図ります。

- ・内 容 ① 「シルバーの日（10月第3土曜日）」及び「普及啓発月間（10月）」の事業推進
- ② 情報誌「ときめき群馬」等を活用したセンター事業紹介
- ③ 各種イベント等でのシルバー人材センター事業紹介
- ④ リーフレット等普及啓発資料の作成、配布
- ⑤ 県広報媒体、有料広告等による広報
- ⑥ SNSを活用したシルバー人材センター活動紹介
- ⑦ 検索エンジンへの「リスティング広告」掲載（新規）

イ 安全・適正就業推進事業（予算額 1,825千円）

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員が高齢であることから、就業時の安全確保が重要となっています。特に事故が多発している作業について、安全就業対策の徹底と会員の安全・適正就業への再認識を図り事故防止につなげます。

- ・内 容 ① 安全・適正就業委員会の開催 3回（6月、10月、2月）
- ② 安全・適正就業担当者研修会の開催（安全大会時）
- ③ センターが実施する安全・適正就業講習会に対する助成
- ④ 安全・適正就業の巡回訪問を実施（7月～10月）
- ⑤ センターで実施する安全講習会への参加、指導
- ⑥ 重篤事故及び高額損害賠償事故の現地調査
（原因分析、再発防止対策及びその水平展開）
- ⑦ 安全・適正就業啓発資料の作成、配布
- ⑧ 安全大会の開催（11月）
- ⑨ 安全就業優良センターの表彰（安全大会時）
- ⑩ 事故防止啓発活動の実施（事故防止安全教育DVD貸出及び視聴等）
- ⑪ 蜂刺され重篤事故に対する再発防止策の継続推進
- ⑫ 有料講習受講料助成事業（刈払機・チェーンソー）

ウ 就業開拓等事業（予算額 77千円）

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保、提供するため、シルバー人材センターが受注可能な仕事の開拓や新しい就業分野の開発・拡大を図ります。また、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し入会を促進し、会員拡大を図ります。

- ・内 容 ① 就業開拓等委員会の開催 2回（6月、2月）
- ② 就業開拓及び適正就業推進巡回訪問の実施（7月～10月）
- ③ 成長分野における就業開拓等の推進
 - ・福祉・家事援助サービス
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）
 - ・空き家管理対策事業
 - ・放課後児童クラブにおける育児支援
- ④ 女性を重点とした入会促進及び女性の就業ニーズに対応する新たな就業先の開拓支援（新規）
- ⑤ 退会抑制への取り組み支援（新規）
- ⑥ 適正就業（法令遵守）の徹底
- ⑦ 独自事業の推進
- ⑧ 地域団体（ハローワーク・経済団体等）との連携

エ 交流研修事業（予算額 1,649千円）

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質向上、活性化を図るため、各種研修を開催します。また、センターが会員を対象に実施する技能講習会に対して支援を行います。

- ・内 容 ① 職員研修（8月）
- ② 役職員研修（9月）
- ③ シルバー人材センターが実施する技能講習会に対する助成

オ 指導相談事業（予算額 958千円）

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、（公社）全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、センターからの相談に随時対応します。

また、連合単独では対応が難しい、高度な相談に関しては専門職による相談機関を設け、市町村シルバー人材センターの事業活動を支援します。

- ・内 容 ① 顧問弁護士による法律相談
- ② 顧問税理士による会計・経理相談

カ シルバー人材センターへの交付金の支出（予算額 208,069千円）

シルバー人材センターの安定的運営のため、国庫補助金をシルバー人材センターへ交付します。

キ 調査研究事業（予算額 24千円）

シルバー人材センター事業を推進していくうえで有益な情報や資料等を収集・分析、先進地視察等を通じてシルバー人材センターとの情報の共有化を図ります。

また、PDCAサイクルによる四半期ごとの各センターの目標達成状況を取りまとめ、分析を行い事業展開の基礎資料とします。

ク 有料職業紹介事業（予算額 16千円）

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため、職業紹介事業を実施します。

ケ センター設置促進（予算額 - ）

群馬労働局、群馬県及び関係町村と連携のもとシルバー人材センターの未設置地域の解消及び連合会への加入を目指します。

- ・未設置町村 草津町、川場村
- ・連合会未加入 榛東村、上野村

コ 労働者派遣事業（予算額 1,110,812千円）

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、従来からの請負や委任による働き方では対応できない業務など、多様な働き方が可能となる労働者派遣事業を更に推進します。

- ・内 容 ① シルバー派遣事業統括管理（労働契約及び労働者派遣契約の管理派遣会員の勤怠管理、会計管理、年末調整事務、行政への届出等）
- ② シルバー派遣事業担当者研修（10月）
- ③ 派遣会員に対するキャリアアップ等の教育訓練の実施（随時）
- ④ シルバー派遣事業資料の作成・配布
- ⑤ シルバー派遣事業支援（4月～3月）
- ⑥ シルバー派遣事業推進検討会議（必要に応じて）
- ⑦ 衛生管理者試験に係る試験手数料助成
- ⑧ 「産業医」及び「衛生委員会」の導入に係るセンター支援
- ⑨ 労働関係法令及び「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を遵守した適正就業の確保
- ⑩ 小規模センターが実施する派遣事業の体制整備及び支援（新規）
- ⑪ デジタル給与明細への切り替え推進（新規）

サ 「契約方法の見直し」に係る対応とデジタル化の推進（予算額 - ）

「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」が施行され、フリーランス法の趣旨を踏まえ、新たな契約方法への移行が進められている中で、制度変更適切に対応していくためには、デジタル機能の強化は避けて通れない課題となっていることから、会員のデジタルリテラシーの向上も含め、県内外の先進的な取り組みを紹介し、センターへの支援を行います。

また、センターが新たな契約方法へ円滑に移行できるよう最新の情報を収集・提供し、かつ連携し適切な支援を図ります。

シ 情報管理体制の強化 (予算額 ー)

個人情報の保護について、外部へ情報が漏洩しないよう「個人情報保護規程」に基づき、情報管理体制の強化に努めます。

また、「個人情報保護」に関する研修を連合本部及びセンター役職員を対象に年一回以上実施します。

ス 公益法人制度改革への対応 (予算額 ー) (新規)

令和7年4月から施行されている「改正公益認定法」に適切に対応すべく、改正内容(財務規律の柔軟化・明確化、自立的ガバナンスの向上・透明性向上など)及び「新会計基準」について、引き続き情報を収集・提供し、かつ連携し適切な支援を図ります。

(2) 高齢者活躍人材確保育成事業 [予算額 23,467千円]

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野で担い手不足が問題となる中、働くことに必ずしも意欲的ではない高齢者や地域企業に対して、シルバー人材センター事業を積極的に周知・広報するとともに、技能講習や就業体験を行うことで、新規会員の獲得、新たにシルバー人材センターを活用する地域企業の増加を目的に実施します。

さらに、現在シルバー人材センターの会員で、新たな分野での活躍を希望する会員、実際の就業に今一步踏み出せない会員のためにも、技能講習や就業体験を実施し、人手不足分野等の担い手不足の解消を目指します。

- ・内 容 ① 拠点センター及び関係機関と連携した取組の推進
- ② シルバー人材センターに関する周知・広報活動の実施
- ③ 技能講習及び就業体験の開催
- ④ 高齢者活躍人材育成事業連絡会議の開催
- ⑤ 周知・広報、技能講習、職場体験の実績管理及び実績報告